

## 第3回例会報告（2017年12月発信）

年の瀬を迎えています。みなさま、慌ただしく新年の準備をされていることと思います。今年もお世話になりました。また、来年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、広島支部では、第3回例会を11月23日（木・祝）（比治山大学附属幼稚園ホール）に行いました。

今回も予想以上の多くの参加者があり、豊かな実りの講習会となりました。

講師は、坂本真理子先生。



参加者の1人、高橋こころさんのレポートをお届けします。

「今回の研修会では、実践に活かせるアイデアをたくさん教えていただきました」



「5音で構成されるペントニックという奏法の実践練習では、即興演奏は難しいという思いが強かったのですが、その考え方を變えることができました。また、グリッサンド奏法を用いた即興演奏では、弾く方向や長さ、速さ、強弱を變えることによって様々な感じ方ができました。想像を膨らまして、音を感じながら体を動かすことができました。」



「リトミックでは、その時々の子どもの姿を見て、その時の子どもの様子に合わせた演奏をすることが大切だということを学びました。そのため、即興演奏の技術は重要であると改めて感じました。

研修会の後半では、拍を感じながら体を動かしました。テニスボールを転がして拍の違いを感じたり、手を叩いて拍を刻んだりしました。」



『サンタクロースの準備』というテーマでグループに分かれての創作活動では、楽しく拍を感じながら動くことができました。日常生活では、様々な場面で拍を刻んでいるのだと感じ、音楽と動きには繋がりがあのだと改めて実感しました。

自然と体がリズムカルに動き、笑顔いっぱいの時間を過ごすことができました。坂本真理子先生の素敵な世界に入り込める学び多い楽しい研修会でした。」